

NEWS RELEASE

報道関係各位

2021年4月23日

IT投資に新しい選択肢を。 「モノ」を持たないことで初期費用を抑えられる、 製品サブスクリプションサービスの提供を開始

アライドテレスिस株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎）は、ITシステムに必要な製品や機能を、契約型で使用できる「Allied Telesis OneStop Platform」の提供を開始します。



これまでのIT投資では、自社に機器を設置してシステムを導入するオンプレミスか、外部の事業者が用意した機器やソフトウェアを、通信回路経由で利用するクラウドサービスの2つがメインでした。オンプレミスはどうしても初期投資費用が高額になりやすく、所有資産の増加を招きます。しかしクラウドサービスだけでは、内容をカスタマイズできない、専用設備が使えないなどクリアできない要件もあります。

そこでアライドテレスिसでは、その両者の良いところをチョイスしたサブスクリプションサービス「Allied Telesis OneStop Platform」をご提供いたします。「モノ」を所有することなく、実現したい「コト」を「サービス」として利用可能。単純なリースとは異なり、製品購入費、ライセンス費、保守費用、その他当社で提供している様々なソリューションを組み込んだ金額を期間で按分します（※1）。

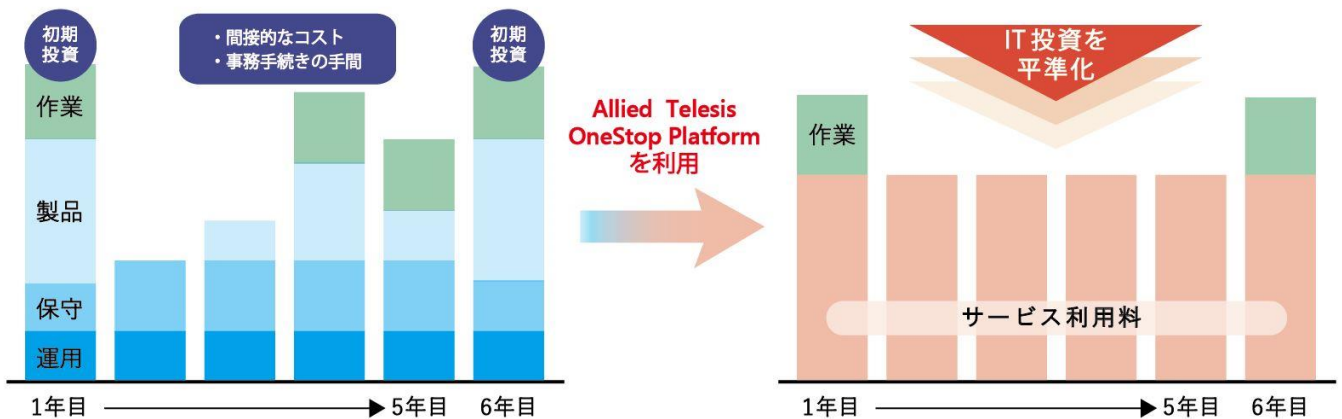
【Allied Telesis OneStop Platform とオンプレミス/クラウドサービスとの比較】

	オンプレミス	Allied Telesis OneStop Platform (サブスクリプションサービス)	クラウド
IT製品の所有	○ お客様	◎ サービス事業者	◎ サービス事業者
支払方法	△ 初期投資が高額	◎ カスタマイズ可能	○ メニュー内選択
契約 (ライフサイクル管理)	△ 無し (お客様が管理)	○ カスタマイズ可能	○ メニュー内選択
調達スピード	△ 遅い	○ 通常 (オンプレ+クラウド)	◎ 早い
自由度	◎ 高い	○ 通常 (オンプレ+クラウド)	△ 低い

【利用シーンの一例】

●例1) IT投資を平準化

「LANシステムの更新が必要だが、イニシャル費用が高額で予算が確保できない」というエンドユーザー様のお悩みは、「Allied Telesis OneStop Platform」が解決いたします。IT投資には固定資産税や動産総合保険、会計事務処理に廃棄処分料など、実は目には見えないコストがかかってきます。これらを平準化し、毎年の予算に組み込み按分できるので、初期投資額を抑えられます。



●例2) LANをサービスとして利用

「新しい拠点にLAN環境を用意しなければならないが、初期投資を抑えたい」という声や、「小規模拠点のため可用性や拡張性は不要。安定した通信ができればよい」という声、また「LANを随意契約でサービスとして利用したい」という声にもお応えすることが可能です。LAN製品や管理機能、運用までワンストップでサービスとしてご提供いたします。

“ネットワーク”も“セキュリティ”もサービスとして提供

製品保守サービス

運用支援サービス

業務代行サービス

Net.Cover® Net.Monitor Net.Assist

セキュリティ対策支援サービス

ネットワーク統合管理サービス

導入支援サービス

Net.CyberSecurity Net.AMF Net.Pro

■製品サブスクリプションサービスに関する、さらに詳しい情報はこちらから

→<https://www.allied-telesis.co.jp/net.service/subscription>

※1) 費用は契約内容やその契約期間によって異なります

※) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-telesis.co.jp

<https://www.allied-telesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第2 TOCビル